

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	成人各種健康相談事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、個々の健康管理に資することを目的とする。						
事業の概要	健康や栄養、こころの相談等を実施し、保健師、管理栄養士、臨床心理士等の専門職が指導及び助言を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,061		370		357	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	基本健診受診者（40歳未満）の保健指導数	人	208	347	500	500
	成果	こころの健康相談の来所者数	組	11	11	12	12
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	若い世代からの健康の意識付けに保健指導を実施した。こころの問題の相談が多くみられ、メンタルヘルズ講座を実施した。若い世代から高齢者まで幅広い世代の参加があった。 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	健康まつり開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	鈴木 由佳		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	市民が心身共に健康でいきいきと生活できるようにするため、健康づくりのための様々な取組を広く周知し、健康づくりに対する意識の向上を図ることを目的に事業を実施する。						
事業の概要	ゆめさくら博開催時の参加団体として10月に実施。健康相談や健康づくり団体の活動紹介など、健康に関する正しい知識の普及と健康づくりの意識の向上を目的に開催する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	149		88		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	健診体験コーナーの来場参加数	人	49	28	-	-
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、健康情報提供、健康相談、歯科相談、栄養相談、骨密度測定コーナー等は実施せず、20代のワンコイン健診のみ実施した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小			業務量	○拡大 ○現状 ●縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	生活習慣病予防事業			事業開始年度	平成24年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	健康に関する正しい知識の普及啓発を図り、自らの健康は自らが守るという認識と自覚を高め、健康の保持増進を資する。						
事業の概要	広報等を活用し健康に関する正しい知識の普及啓発を実施するとともに個々が取り組める身体活動の推進を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	65		172		168	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	日常生活の中で身体活動を実施していない人の割合の減少	%	48.1	51.2	50	50
	成果	運動を実施していない人の割合の減少	%	58.8	60.3	55	55
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	女性の健康づくりではピラティス、とちぎSC健康講座ではボール運動など、ウォーキング以外の運動についても周知することが出来た。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	さくら健康マイル事業			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	健康づくりの取組みに対しインセンティブ（報奨）を提供することにより、健康的な生活習慣を定着させ、市民の健康寿命の延伸と医療費削減を目的とする						
事業の概要	対象者の健康づくりの取組みに対しインセンティブを提供することで、行動変容を実現させる						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	994		758		297	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	健康的な生活習慣を継続している人数（インセンティブ付与数）	人	3,638	3,353	1000	1000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	30日チャレンジは個々が生活習慣を振り返り目標をたて実践することができた。歩数計アプリ登録者は増加しているが応募方法が難しいとの意見があり、毎月操作説明会を実施。夏場は熱中症対策で室内等の運動を推奨したためインセンティブ付与数が減少している。 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
見直し余地	判定						
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	糖尿病重症化予防事業			事業開始年度	令和元年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	長嶋 かお里			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	医療費の抑制						
事業の概要	栃木県糖尿病重症化予防事業プログラムに沿って行う事業						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	603		205		1,018	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
		保健指導実施者数	人	6	2	10	10
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	令和5年度の目標18人に対し実績2人					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	高齢者保健介護一体的実施事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	地域の健康課題の分析や対象者を把握し、生活習慣病対策など高齢者保健事業と介護予防事業を一体的に実施						
事業の概要	地域の健康課題の分析や対象者を把握し、生活習慣病対策など高齢者保健事業と介護予防事業を一体的に実施						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	3,176	6,573	13,514			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	活動	実施取組圏域数	圏域	1	3	5	5
	成果	健康状態不明者数	人	124	96	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対象者抽出基準に該当した者のうち、対象者とした者全員に対し支援を実施した。健康状態不明者については地域包括支援センターや庁内関係課と連携をしながら状況を確認した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	まちなか保健室事業			事業開始年度	令和 5年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	乳幼児から高齢者までの課題を抱える方が身近な場所で専門職に相談し日常生活を安心して送ることができるように運営実施する。						
事業の概要	健康に係る正しい知識の普及および利用者からの相談に対し適切な支援						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	1,211	4,210			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
		まちなか保健室への来室者数	人		362	370	370
		講座実施数	回		11	12	12
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	乳児から高齢者まで健康相談や体重測定等で来室がある。新たな来室者を取り込むために、ラジオ体操やひなめぐり等のイベントにも参加し周知した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	各種がん検診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	がん検診を受診することで、がんの早期発見・早期治療につなげ、がんによる死亡者の減少につなげる。						
事業の概要	厚生労働省のがん検診の指針に基づき、各種がん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺）を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	59,200		57,998		76,889	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	がん検診精密検査の受診率（胃+肺+大腸+子宮+乳、前々年度）	%	76.9	81.6	85	90
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	集団検診は日時予約制で密を回避しながら行う。 要精密検査者に対しては、健診委託機関と連携をとりながら電話等で勧奨した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	



**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	がん検診推進事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	がん検診（乳がん・子宮頸がん）の受診率の向上を推進することにより、がんの早期発見、早期治療により、がんによる死亡者数を減少させる。						
事業の概要	国の基準による子宮がん検診（21歳）・乳がん検診（41歳）の対象者に無料クーポン券を配布する。また、受診の必要性について個別周知をする。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,260		1,140		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	21歳の子宮がん検診を受診した数 （集団・個別医療機関）	人	12	16	0	0
	成果	41歳の乳がん検診を受診した数（集団・個別医療機関）	人	87	87	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	健診受診勧奨を個別通知で実施後、再度健診未受診者に通知で勧奨をした。再勧奨後の受診者が多くみられた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	人間ドック補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	長嶋 かお里			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	疾病の早期発見により医療費抑制を図る。						
事業の概要	人間ドック・脳ドックを受診した30歳以上の国保被保険者に20,000円の補助を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	7,160		6,560		8,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	活動	人間ドック・脳ドック補助件数	件	358	328	400	400
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和5年度の目標400人に対し実績328人					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	結核検診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	小堀梨絵		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	結核の発生を予防し、及びその蔓延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図る。						
事業の概要	65歳以上の市民を対象として、年1回の結核に係る定期の健康診断を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,267	1,657	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	65歳以上の肺がん・結核検診の延べ受診者数	人	4,254	3,951	0	-
	成果						
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	氏家保健センターと喜連川保健センターで実施をした。感染症対策とし、時間指定および実施回数を増やした。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	健康診査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	生活習慣病予防のため、正しい知識の普及啓発と疾病の早期発見に努める。						
事業の概要	基本健診、歯周病検診、骨粗しょう症検診、胃がんリスク検診など幅広く健康診査を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	14,615		13,357		14,370	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	ヤング健診受診者数	人	429	385	500	500
	成果	歯周疾患検診受診者数	人	191	228	250	270
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ヤング健診対象者数が減っているため受診者数は減っているが、早期から自分の健康状態を知り健康に関心をもつことは重要である。今年度よりレディースデーを設けたため、初めて健診を受診した若い世代もいる。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	後期高齢者健診事業費			事業開始年度	平成20年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	網野 徳之			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	生活習慣病の早期発見により、後期高齢者の健康の保持増進を図り、生活の質を確保し、安心で安定した生活の向上に資する。						
事業の概要	保健センターでの集団健診、指定医療機関での人間ドック及び市内医療機関での個別健診の実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	11,473	12,397	23,150			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	受診率（市町村報告受診率）	%	29.12	30.41	30	30
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和5年度目標値 30%に対し30.41%					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	特定健康診査等事業費			事業開始年度	平成20年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	長嶋 かお里			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	特定健康診査により生活習慣病（メタボリック症候群）の抑制を図る。						
事業の概要	40歳以上の者に対して特定健康診査及び特定保健指導を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	20,789		21,380		44,445	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	受診率	%	45.8	46.4	60	60
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	目標値が高く、達成するのは難しい状況である。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	受診行動適正化指導事業			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	長嶋 かおり			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	重複・頻回受診者、重複服薬者数の減少						
事業の概要	レセプトから医療機関への過度な受診が確認できる対象者、または重複して服薬している対象者を特定し指導する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	450		429		481	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
		保健指導実施者数	人	4	11	10	10
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	目標値10人に対し実績は11人（重複薬4人・頻回受診7人）だった。訪問指導後の対象者の服薬状況は、3人改善の確認がとれた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業			事業開始年度	令和 4年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	がん治療を受けながら社会生活を送る方の負担を軽減し、就業及び療養生活の質の向上を図る						
事業の概要	がん治療に伴う外見の変化をカバーするための医療用ウィッグ・乳房補整具を購入する費用の一部を助成						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	310		656		700	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	医療用ウィッグ申請者数	人	10	23	20	20
	成果	乳房補整具申請者数	人	1	1	5	5
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ホームページや医療機関からの説明で申請に来る方が多かった。引き続き周知に努める。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	



**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	地域自殺対策強化事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	畑山香織			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	03	心の健康づくりの推進				
事業の目的	「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指して、自殺対策を総合的に推進し自殺者の減少を図ることを目的とする。						
事業の概要	自殺対策の普及啓発活動として、市民を対象とした講演や啓発用品の配布を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	297		515		517	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	活動	自殺者数	人	6	7	5	5
	活動	ゲートキーパー養成研修受講者数	人	504	312	550	550
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ゲートキーパー養成研修や啓発用品配布を通じて市民に自殺対策の知識が浸透し、自殺者数は横ばいにとどまっている。内訳は、総数7人のうち若年層が6人でありそれらへの対応が課題である。さくら市では若年層への更なる啓発活動が必要である。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	新型感染症対策事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	小堀 梨絵		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	04	感染症予防対策の充実				
事業の目的	新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の発生に備え市民を感染から守る。						
事業の概要	新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の発生に備え、対策に必要な感染症防護対策キットや感染防止用マスク等を購入し備蓄する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,694		895		619	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	防護服備蓄数	セット	685	738	600	600
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和5年度は、民間施設等にて新型コロナウイルス感染者が発生したため防護服を配布した。一定の備蓄数を確保しているが、今後も新型インフルエンザ等の発生に備え、使用期限の過ぎたものを処分し、新しいものを購入していく。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	任意予防接種事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	小堀 梨絵			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	04	感染症予防対策の充実				
事業の目的	予防接種法に基づく「定期接種」以外で日本で受けられる予防接種と、定期接種の期間外に受ける任意予防接種費用を助成し、り患者を減らす。						
事業の概要	子どものインフルエンザ、おたふくかぜ、帯状疱疹などについてそれぞれ定めた金額を助成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	11,607	18,424	26,519			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	子どものインフルエンザ接種者数	人	4,201	3,832	4,000	4,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症やワクチン接種の影響もあってか接種者数が減少している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	小堀 梨絵			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	04	感染症予防対策の充実				
事業の目的	新型コロナワクチン接種を円滑に実施する。						
事業の概要	新型コロナワクチン接種実施のための体制確保（個別医療機関接種、コールセンター運営、接種券の作成・発送、ワクチンの管理・配送等）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	232,298		171,303		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	接種率（最新の接種に係るもの）	%	48.4	26.5	-	-
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和5年5月8日からの5類移行に伴い、接種率の低下が見られた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	公的病院等支援事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木 由佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	05	地域医療体制の整備				
事業の目的	救急医療の確保及び地域医療の充実を図る。						
事業の概要	救急医療などの不採算医療における機能維持を図ることが多大な困難を極める中で、当該医療を担う公的病院等に対し、地域医療体制の維持を図るため、交付金を交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	13,000		13,000		13,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	救急患者の受け入れ延べ人数	人	1,775	2,223	1,900	1,900
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	救急医療の確保等を目的としているため、対象病院の救急患者受け入れ延べ数を指標とした。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	データヘルス計画策定事業			事業開始年度	令和 5年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	長嶋 かおり			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	05	地域医療体制の整備				
事業の目的	さくら市国民健康保険における地域特性と健康課題を把握し、効果的な保健事業を実施することにより、被保険者の健康の更なる保持増進と将来的な医療費の適正化を図る。						
事業の概要	令和6年度以降の効果的かつ効率的な保健事業の実施に向けた新たな取組手法、目標を設定した「第3期さくら市国民健康保険データヘルス計画」を策定する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		3,278		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
		データヘルス計画の策定	件		1		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和6年度から令和11年度計画を策定					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	氏家保健センター管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木 由佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市民の総合的な保健衛生の向上及び健康づくりの推進に寄与する。						
事業の概要	健康相談、保健指導及び健康診査等の地域保健に関し必要な事業を行うための施設の使用と、センター施設の良好な維持管理のため、消防、空調等保守業務、修繕等を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,252		13,562		4,741	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	センター稼働率	%	78.7	86.9	87.5	80
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	保健センター来所者が不都合なく利用できるように維持管理に努めたことにより地域保健事業の充実し、心身の健康づくりの推進につながっている。こども家庭センター設置工事を実施。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	喜連川保健センター管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木 由佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市民の総合的な保健衛生の向上及び健康づくりの推進に寄与する。						
事業の概要	健康相談、保健指導及び健康診査等の地域保健に関し必要な事業を行うための施設の使用と、センター施設の良好な維持管理のため、消防、空調等保守業務、修繕等を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,544		6,009		97,749	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	センター稼働率	%	60.2	58.6	63.5	60
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	保健センター来所者が不都合なく利用できるように維持管理に努めたことにより地域保健事業が充実し、心身の健康づくりにつながっている。雨漏り修繕の為、屋根葺替工事実施設計業務委託を実施。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		